



羽根ペンを作りました！

ちょっと前のご報告になりますが、6月に続き秋のわくワークショップを開催しました！

様々な体験を通して、動物について知ってもらおうという企画です。

今回のテーマは鳥の羽。かみね動物園で暮らす鳥たちから抜け落ちた羽を使って「羽根ペン」を作りました。



こちらはウミウ

まずは鳥の羽に関するお話し。実際に触りながら、どんな鳥の羽かを考えてもらいました。



色や模様、大きさなど鳥といっても色々な羽があります。ピンク色はフラミンゴ、とすぐに分かって茶色いと誰の羽なのか当てるのは難しかったようです。

続いて触ってもらった羽をグチャグチャ触りバサバサにしてもらいました。でも下からなでるとすぐに元通りに。実際に鳥達も羽がバサバサになってしまうと羽根繕いをすればすぐに元に戻ります。これはどうしてでしょうか？

その答えを顕微鏡をのぞいて確かめてもらいました！



よく観察します

のぞいて見えてきたのはジッパーのようなかぎ針がびっしり生えているところ。このかぎ針によってバサバサになってしまっても羽根繕いをすれば元に戻るんです！（写真がなくて申し訳ありません…）

バサバサになった羽では飛ぶことが難しくなってしまうためこのような秘密があったんです。

ちなみに体を温かく保つための羽にこのジッパーのようなかぎ針は見られないため、そちらも一緒に観察してもらいました。

普段は見られない鳥達の羽に隠された秘密にみんなビックリしていました！

続いてお楽しみの羽根ペン作り。



好きな羽根と毛糸を選んで…



羽根の先を切ってペンを羽軸の中へ…



羽軸とペンを毛糸で巻いて…



できあがり！！



書き心地はいかがですか？



最後は恒例記念写真！！

今回は鳥の羽に注目してもらいましたが、動物たちには私たちが気づいていないすごい秘密をたくさん持っています。

動物園に来てただ動物を見るだけでなく、よーく観察したり、飼育員に質問してみてください。新しい発見があるかもしれませんよ！

(飼育員 おおぐり)

頭の中がピンク色（その1）

脳内お花畑なわけではなく、フラミンゴのことです。
どういわけかここ数年ぱたりと止まってしまったチリーフラミンゴの繁殖について今年の3月から頭の中がピンク色になるほど考え続け8月に結果が出ました。
現在は9羽のヒナが大人たちと展示場を颯爽と歩いております。



大きい、グレーのももこ。大きさが色んなのがいます。
このヒナ達はそれぞれ親が立派に育て上げました。



ところが実は皆さんに公開していないヒナもいるんです。
それがこの2羽。今は飼育員が育てています。



なぜ飼育員が育てているのか。

フラミンゴは巣で卵を温める際、時々立ち上がって卵をくちばしで転がす様子が見られました。

これは「転卵」と言っており、鳥が卵を温める際に見られる行動です。

卵を転がすことで中のヒナが卵にくっついてしまうのを防ぐことができます。

ところがこの転卵がうまくいかず巣から落ちることになってしまうペアも・・・

後で拾い上げて巣に乗せるのですが、なぜかすんなり温めてくれず、このままだと卵が冷たくなってしまいます。



そこで孵卵器に入れて機械の力で温めました。



そして無事孵化したチリーフラミンゴ。

初めての体重測定は60gと出ました。

皆さん、お手持ちのスマホは大体100gくらいです。

それより軽いんですよ。ちなみに私のガラケーも100g。2つ折りなので半分に折ったくらいの重さでしょうか。折らないけど。



現在は250g（10月31日時点）。

他園館のデータから見るともっと体重を増やさないといけないようです。

何せ初めての事なので私も勉強しながらなのですが、これからもちょこちょこブログで紹介していこうと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

(飼育員 かわそえ)

2014年11月19日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)

[平成28年](#)

[平成27年](#)

平成26年

[平成26年12月](#)